



### 子どもたちの未来のために



埼玉県青少年健全育成推進員 浅見 恒夫

小・中学生の登下校の交通事故防止、不審者等からの被害防止、非行化防止のバトロール等のために町内には学校区ごとに青少年健全育成協議会があります。さらに各学校では、「子ども見守り隊」を組織し、保護者や地域の方々がボランティア活動を行っています。厳しい寒さの中で、毎朝子どもたちの交通

### 身近な健全育成



寄居町青少年相談員協議会 代表相談員 野原 篤史

私たち青少年相談員は、おおむね20歳から30歳くらいの年齢の青年ボランティアで、地域の子どもたちの良き友、良き理解者となり、子どもたちの健全な成長を助けるために、町内の小学生を対象に様々な活動を行っています。

昨今の社会状況は、少子化、核家族化、地域の活力の低下、

指導をしている姿に心を打たれます。

私の家の近所には公園があり、地区内の人が当番で毎月除草や清掃をしています。近くのコンビニの人も毎日ゴミ拾いをしています。小さい子どもや小・中学生も安全に楽しく利用しています。私達も町内のバトロール、有害図書類の調査等、非行防止のための活動、青少年の相談等、健全育成に携わっております。これらの活動を通して「誉めること」の大切さについて考えさせられました。

子どもたちの健全育成にあたっては、人間としての大切なしつけはしっかりと教え、正すこと少年非行の深刻化など、子どもたちを取り巻く環境は厳しいものになっていくといわれています。そんな中、地域の良きお兄さん、お姉さんとして、良き話し相手、相談相手、遊び相手となることは、大きな役割であると考えています。

当協議会は、40名ほどの若者が集まって構成されており、その職種は様々です。学校の先生やカウンセラーといった専門的な知識を持つ者はほとんどおらず、子どもとの接し方、指導方法、問題の対処法などのノウハウはほとんどありません。相談員一人ひとりの経験や知識、そして熱意だけで子どもたちと接

ろは丁寧に諭すことが大切です。その上で一つでも多く良いところを見つけて、優しく心の内をしっかりと聞き取る、声を出して誉めるといったことが重要になっていくのです。

例えば、棋士の米長邦雄氏にもこのような話があります。米長氏が子どもの頃、近所のアマ五段の人に、「君は大人には負けただけ、この手はプロ並みの才能を感じさせる一手だった。すぐ強くなるよ」と誉められ、その言葉を信じて将棋に取り組んでいったそうです。そして、大人にも勝てるようになること、「このまま続けていけば、すぐに県内に敵はいなくなる」と、



し、活動しているのです。したがって、どう対処したらいいのだろうと思悩む場面に直面するのも事実です。しかし、そうした純粋な気持ちに子どもたちも大きく反応してくれるものです。つまり、「子どもの健全育成」は、誰もが、いつでも、ど

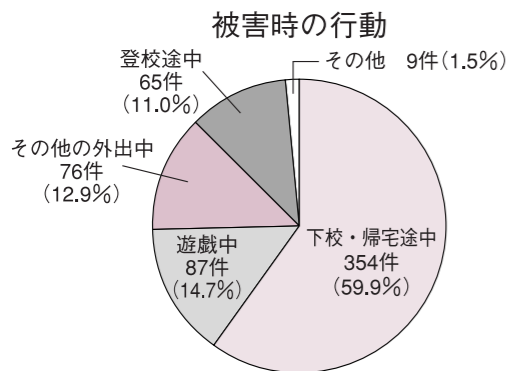
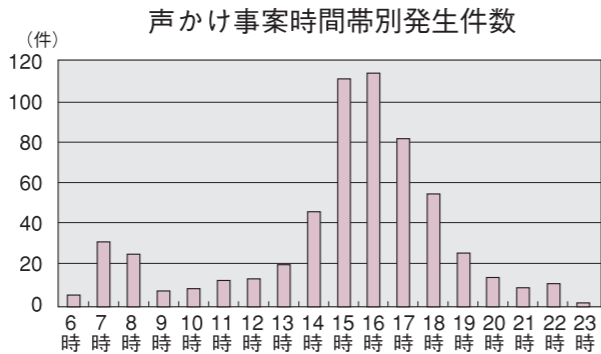
## 地域の力で子どもたちを守ろう！ 子ども110番・見守り隊



### 「ねらわれる子どもたち」

近年、子どもがねらわれる事件が目立ちます。子どもへの「声かけ事案」（犯罪ではありませんが、その予兆行為として、声をかけた、手を引いた、後をつけた等の事案をいいます）は平成19年度中、12月までに、県内での認知件数は591件、被害者総数841人で、次のような傾向がみられます。

- ①被害者は、小学生が約6割、性別では女子が約8割を占めます。
- ②約7割が登下校中に被害にあっています。
- ③約8割が一人でいる時に被害にあっています。
- ④午後2時～6時に約7割が集中しています。



### 「子ども110番・見守り隊」

子どもたちを守るため、町では平成17年に「子ども110番・見守り隊」の制度を発足させました。

#### 登録

町内の各家庭に協力を呼びかけ、ご協力いただける方を登録し、蛍光反射タスキを貸与します。

#### 活動内容

- ①登下校時に、タスキを掛けて通学路に立ったり、子どもと一緒に歩いていただきます。
- ②そのとき、あいさつ等の声かけをしていただきます。
- ③子どもを見守ることが目的です。犯人の取り押さえ等、無理をしないでください。
- ④活動の方法・時間等は特に規定はありません。
- ⑤あくまでも任意で、無理のない範囲で、地域の子どもたちに視線と意識を向けていただきます。

#### 成果

- ①小・中学生の登下校時における変質者・ストーカー等の被害は発生していません。
- ②隊員と子どもたちが顔見知りになり、積極的にあいさつや言葉を交わすようになりました。
- ③地域の人たちに「自分たちの地域は、自分たちで…」とい

### 意識が育ちつつあります。

#### 「子ども110番・見守り隊」

は、発足当初は約500名でしたが、地域の方の意識の高まりの結果、現在の協力者は当初の2倍になり、今なお増え続けています。地域ぐるみで活動を行うことで、「地域の子どもは、地域で育てる」という意識が育つことを目的としています。また、あわせて「自分たちの地域を自分たちで知ってほしい、点検してほしい」というお願いもしています。例えば、ゴミが散らかっているような場合、子ども・保護者・PTA・地域の人たちが掃除をすることです。それにより、地域の人々とのコミュニケーションも自然に図れるようになります。自分たちの地域であるという意識づけや、地域ぐるみでの活動、地域のきずなづくりにもつながっていくこととなります。これらの活動は、一人ひとりが無理のない範囲で、できることをやり続けていくことが大切です。

今後も、警察やPTAはもちろん、地域との連携を強化し、より効果的な活動ができるように取り組んでいきますので、地域の皆さんのご協力をお願いします。

### 「子ども110番・見守り隊」募集中！

寄居町健全育成町民会議では、引き続き、「子ども110番・見守り隊」を募集しています。申し込み用紙に記入していただければ登録完了です。登録証として、パトロール用の蛍光反射タスキを貸与します。地域の皆様のご協力をお願いします。  
申し込み・問い合わせ/生涯学習課 (☎581・2121 内線532) へ。

### ◆地域の皆さんへのお願い◆

- 1 近所の子どもの顔を覚えましょう。
- 2 散歩や買い物などの時間を登下校の時間にあわせ、子どもの様子を見守りましょう。
- 3 夜道は危険がいっぱいです。夕方、少し早めに外灯をつけましょう。
- 4 子どもが危険な場所で遊んでいたら、注意をしましょう。
- 5 いつでも、どこでも子どもを見守る気持ちを持ちましょう。